

2020年9月18日

知識情報・図書館学類生各位

知識情報・図書館学類長 歳森 敦

### 対面授業等における受講上の配慮について

秋学期から対面授業が一部再開されますが、みなさんが自身あるいは同居者の感染リスクを回避する必要があると考える場合等には、申し出によって科目毎に授業として可能な範囲で配慮を行うことになっています。大学としては、学生自身が希望する科目毎に随時申し出ることを想定していますが、知識情報・図書館学類では、学類として希望を受け付け、学類長名で他学群・他学類を含む受講科目の担当者に配慮要請の文書を送付する形で、みなさんの希望が円滑に授業担当者に伝わるようにしたいと考えました。

については、授業実施上の特別な配慮・措置を希望する人は、各自のクラス担任または指導教員に連絡し、面接（リモート可）を受けてください。面接の際、記入済みの配慮申請書を教員に提出してください。その後、図情エリア支援室から各授業担当者に学内メールで別紙の配慮依頼文書を送付します。ただし、学生自身が授業担当者に配慮を申し出る（メール可）こと自体は必要です。学類長名の配慮要請は、あくまで補助的な役割であることに留意してください。

いつでも申請は可能ですが、面談・発行・送付に数日はかかるので、できるだけ早めに申請してください。申請書は、配慮を希望する理由と配慮内容を典型的な選択肢として示していますが、面談の際にはできる範囲で具体的に説明してください。診断書等客観的な証明書は必要ありません。「その他」の理由には「不安」や「怖れ」を含みます。申請の追加、修正、取り消しもいつでも可能です。

不明な点がある場合は学類長あるいは図書情報エリア支援室（学群教務）までお問い合わせください。

クラス担任・指導教員のメールアドレス：

<https://klis.tsukuba.ac.jp/assets/files/syllabus.pdf#page=269>

ただし、非常勤講師への連絡は図情エリア支援室学群教務（下記）宛てで行ってください。

知識情報・図書館学類が担当する科目の担当教員のメールアドレス：

上記（担当教員の氏名はシラバスの各科目のページを参照）

他学群・他学類・センターが開設・担当する科目の授業担当者のメールアドレス：

各科目のシラバスおよび manaba の当該科目のコースに連絡方法の記載が無いかを確認してください。

それでも判らない場合は、図情エリア支援室学群教務に問い合わせてください。

知識情報・図書館学類長：歳森 敦（図書情報メディア系） [klis-chair@inf.tsukuba.ac.jp](mailto:klis-chair@inf.tsukuba.ac.jp)

図書情報エリア支援室学群教務：[gakumu-k@ml.cc.tsukuba.ac.jp](mailto:gakumu-k@ml.cc.tsukuba.ac.jp)

## 配慮申請書

年月日：  
学籍番号：  
氏名：

2020年度秋学期の履修科目の受講について以下の配慮を希望します。

### 対面授業等で支障が生じる事由

- 入国困難
- 本人の重症化リスクが高いので感染リスク回避が必要
- 同居者またはそれに準じた者の重症化リスクが高いので感染リスク回避が必要
- 同居者が感染者に接する機会が多く他者への感染拡大防止の見地から
- その他（以下に簡潔に記入してください）

### 配慮希望事項

- 対面ではなくオンラインで受講したい；対面での期末試験に代替措置を講じて欲しい
- 居住地との時差のため同時双方向型授業への参加が困難であり、代替措置を講じて欲しい
- その他（以下に簡潔に記入してください）

配慮を希望する受講科目名（以下に列挙。科目によって希望する配慮内容が異なる場合は配慮希望事項の○を番号に変え、科目毎に該当する番号を明記）

2020年 月 日

科目番号 科目名  
担当教員 ○○ ○○殿

知識情報・図書館学類長 歳森 敦

## 対面授業等における学生への配慮のお願い

本年度秋学期の授業実施について、下記の知識情報・図書館学類生から配慮の要請があり、本人と面談の上、配慮の必要性について学類で確認しました。受講にあたって学生本人からも個別に相談があるかと思いますが、以下に基本的な事項について記載しましたので、授業実施上可能な範囲でご配慮いただければ幸いです。

なお、不明な点がある場合は学生本人にお尋ねください。それでも不足がある場合は学類長あるいは図書館情報エリア支援室（学群教務）までお問い合わせください。

## 記

1. 該当学生 知識情報・図書館学類 X 年次 ○○ ○○（ふりがな）  
学籍番号：202019999 連絡先：s2019999@s.tsukuba.ac.jp

対面授業等で支障が生じる事由（該当するものを選択）

- 入国困難
- 本人の重症化リスクが高いので感染リスク回避が必要
- 同居者またはそれに準じた者の重症化リスクが高いので感染リスク回避が必要
- 同居者が感染者に接する機会が多く他者への感染拡大防止の見地から
- その他

2. 配慮希望事項（該当するものを選択）

- 対面ではなくオンラインで受講したい；対面での期末試験に代替措置を講じて欲しい
- 居住地との時差のため同時双方向型授業への参加が困難であり、代替措置を講じて欲しい
- その他

詳細については学生が個別に相談させていただきます。

※本文書には個人情報が含まれておりますので、取り扱いには十分ご留意下さいますようお願い致します。

## &lt;連絡先&gt;

知識情報・図書館学類長：歳森 敦（図書館情報メディア系） [klis-chair@inf.tsukuba.ac.jp](mailto:klis-chair@inf.tsukuba.ac.jp) / 内線 81280  
図書館情報エリア支援室学群教務：[gakumu-k@ml.cc.tsukuba.ac.jp](mailto:gakumu-k@ml.cc.tsukuba.ac.jp) / 内線 81112